

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要			
事業開始年度	平成18年度		
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	01 やさしさあふれるまちづくり
	小項目	施策	08 老人保健(医療費給付)
事務事業名	04	後期高齢者医療広域連合負担金事業	
根拠法令・例規等	岡山県後期高齢者医療広域連合規約		
問	担当課(室)	保健課	
合	職・氏名	保険医療係長・大峠一吉	
先	電 話	0869-64-1819	
このシート作成に要した時間			1.5 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	後期高齢者医療制度被保険者
目 的 (何のために)	後期高齢者医療制度の適切な運営に資する。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	後期高齢者医療制度が安定した適正な制度となるようにする。

Plan

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	後期高齢者医療広域連合負担金事業	岡山県後期高齢者医療広域連合に対する負担金の納付	

Do

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
決算額	直接事業費		407,335	467,262	470,222
	必要人員(人件費)	千円	0.01人	0.00人	0.02人
	事業費計		407,411	467,262	470,377
	国 県 支 出 金				70,168
	受 益 者 負 担 金				
	繰 入 金 債 権	千円			
そ の 他 ()					
一 般 財 源		407,411	467,262	400,209	
受 益 者 負 担 比 率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
被保険者数	説明	1人当たり広域連合負担額			
結果指標	結 果 指 標 量	人	6,070	6,188	6,408
	対 前 年 比	%	-	101.9%	103.6%
	活 動 コ ス ト	円	407,411,000	467,262,000	470,377,000
	単 位 当 た り コ ス ト	円	67,119	75,511	73,405

(平成22年度事業)

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
		目標値(A)	67000	67000	67000
1人当たり費用額		67119	75511	73405	到達目標値
	達成率(B/A)	100.18%	112.70%	109.56%	67000

広域連合負担金/被保険者数
被保険者一人当たり負担金額を目標値として設定している。

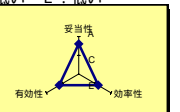
事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	B
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	C
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	C

Check

事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しながら評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	適正に継続して事業を行う。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
後期高齢者医療制度については、対象者、医療費とも増加しており、今後も負担額は増加する見込みである。しかし、制度運営を適切に行うためには必要な事業であることから継続して実施する必要がある。	評価区分 <A~E>	C



平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	後期高齢者医療制度については、平成25年度から新制度に移行することが国の高齢者医療制度改革会議で示されたが、その移行については1年以上ずれ込む見込みである。それまでの間は、現制度のもと適正な事業の遂行に努める。					

Action